

第 66 回 消費者安全調査委員会 議事要旨

■日 時：平成 30 年 2 月 19 日（月）14:00～15:45

■場 所：中央合同庁舎第 4 号館 2 階 共用第 3 特別会議室
（東京都千代田区霞が関 3 - 1 - 1）

■出席者（敬称略、50 音順）

<消費者安全調査委員会>

委員長：宇賀克也

委員長代理：持丸正明

委員：朝見行弘、河村真紀子、澁谷いづみ、水流聡子、淵上正朗

<消費者庁>

福岡審議官、尾崎事故調査室長、事故調査室員

■議事次第：

1. 開会
2. 個別事案について
 - (1) 選定事案
 - (2) 申出事案
 - (3) その他
3. 閉会

■議事概要：

1. 開会
2. 個別事案について
 - (1) 選定事案
《進捗状況の報告》
 - 調査を実施している事案等について、事務局から今後のスケジュールと現在の進捗状況の報告を受けた。
 - 住宅用太陽光発電システムから発生した火災等事故事案について、事務局から追加調査について説明があり、これを基に審議を行った。
 - 新たな調査案件として、「歩行型ロータリ除雪機による事故」をテーマにして、調査・分析を行うことを決定した。

毎年、さまざまな機関から注意喚起が出されているものの、歩行型ロータリ除雪機の使用によって、本体に「ひかれる」「挟まれる」、オーガ等に「巻き込まれる」、投雪口に「手を突っ込んで負傷する」といった事故が起こっていることから、これ

までの事故の原因を分析し、再発防止策を検討していくこととなった。

(2) 申出事案

《個別事案について》

- 申出のあった個別事案については、選定・不選定決定済みの 269 件を除く 4 件と 1 月に申出のあった事案 16 件の計 20 件について検討し、次のとおり決定した。
 - ・引き続き情報収集を行う 5 件
 - ・調査等を行わない 15 件

(3) その他

- プール事故のフォローアップに関し、平成 29 年 12 月の調査委員会から内閣府、厚生労働省及び文部科学省に対する質問への回答内容について審議し、調査委員会としての対応のあり方について審議した。
- 次回は平成 30 年 3 月に開催する予定。

3. 閉会

文責：消費者庁事故調査室